

平成 21 年度各会計別予算額

(単位：千円，%)

会 計 名	本年度	前年度	比較増減	対前年度比
一般会計	26,602,000	26,802,000	△ 200,000	△ 0.7
国民健康保険特別会計	8,050,400	7,979,611	70,789	0.9
老人保健特別会計	35,900	516,232	△ 480,332	△ 93.0
後期高齢者医療特別会計	614,900	625,700	△ 10,800	△ 1.7
介護保険特別会計	4,138,600	4,100,000	38,600	0.9
介護サービス事業特別会計	26,700	25,770	930	3.6
公共下水道事業特別会計	3,899,700	4,207,793	△ 308,093	△ 7.3
農業集落排水事業特別会計	640,600	432,330	208,270	48.2
岩間駅東土地区画整理事業特別会計	15,000	0	15,000	皆増
市立病院事業会計	487,477	523,661	△ 36,184	△ 6.9
笠間水道事業会計	1,256,072	1,464,656	△ 208,584	△ 14.2
友部水道事業会計	1,039,514	1,328,585	△ 289,071	△ 21.8
岩間水道事業会計	528,689	481,871	46,818	9.7
工業用水道事業会計	34,900	36,477	△ 1,577	△ 4.3
合 計	47,370,452	48,524,686	△ 1,154,234	△ 2.4

今期定例会で、平成21年度予算が可決・成立しました。

一般会計、特別会計及び企業会計の全14会計の予算総額は、473億7045万2000円で、前年度に比べ11億5423万4000円の減となっております。限られた財源の中、都市基盤整備、少子化対策、農業対策などに重点を置いた予算となっています。

平成21年度予算が可決・成立

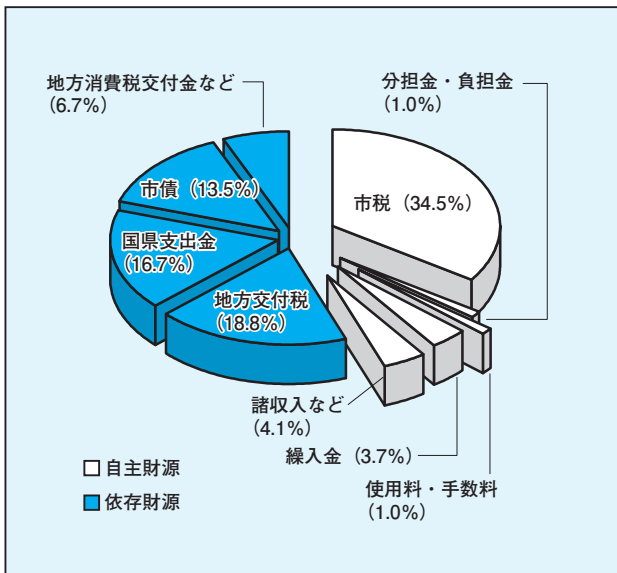
平成21年度一般会計予算の状況

一般会計は、市税や国・県からの補助金、地方交付税などを財源として、福祉・教育・土木など市の基本的な施策を行う会計で、平成21年度予算の内容は次のようになっています。

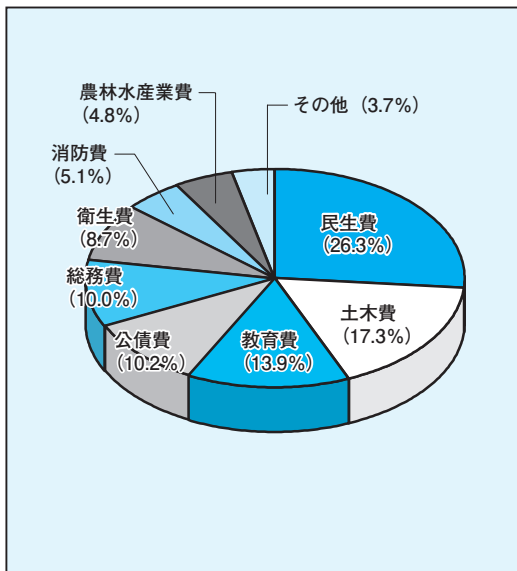
【歳入】

市税の予算額は、91億9415万1000円で、総額の34.5%。使用料・手数料、分担金・負担金、繰入金、諸収入などを含めた自主財源は、117億9733万3000円(44.3%)となっています。また、地方交付税、国県支出金、市債などの依存財源は、全体の55.7%となっています。

21 年度一般会計歳入予算の状況



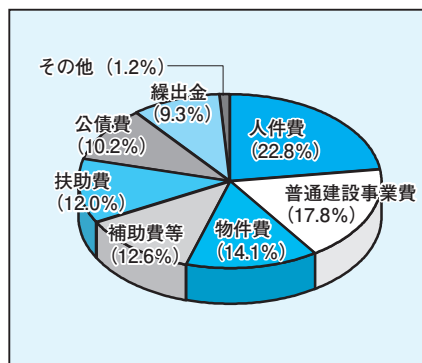
21 年度一般会計歳出予算の状況



【歳出】限られた財源を、福祉や市民生活などの民生費、道路整備などの土木費、小中学校や公民館・図書館運営などの教育費、市債返済の公債費、市税の賦課や広報発行などの総務費、予防接種やゴミ処理などの衛生費、消防・防災の消防費、農林業振興などの農林水産業費、産業振興などの商工費、議会費などに配分しています。

また、平成21年度予算を、人件費や物件費などの性質別に分類すると次のような状況になっています。

歳出予算性質別内訳



予算特別委員会

平成21年度予算を審査するため、3月11日、12日、13日に、予算特別委員会が開催され、3日間にわたり活発な質疑応答が交わされました。
審査の内容及び結果の、主なものは次のとおりです。

◆主な質疑事項について

【一般会計】

デマンド交通システムの経費と見通し、緊急雇用創出事業、コンビ二納付の状況、市税の収納率と滞納対策、次世代育成支援行動計画、地域子育て支援拠点整備事業、水戸広域市町村圏事務組合への負担金、かさま健康ダイヤル24、指定管理者制度導入の効果、友部駅南口整備事業、笠間・友部図書館のシステム統合についてなど

【国民健康保険特別会計】

出産一時金の支払い方法、資格証明書の発行状況についてなど

【後期高齢者医療特別会計】

保険料の徴収方法についてなど

【介護保険特別会計】

介護給付費準備基金の繰入れについてなど

【公共下水道事業特別会計】

受益者負担金減額の要因、下水道事業団への委託についてなど

【市立病院事業会計】

病床数を減らす理由、今後の体制についてなど

【各水道事業会計】

高料金対策補助金、給配水管修繕費についてなど

◆採決について

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計については、賛成多数、その他の会計の予算については、全会一致をもって可決すべきものと決定しました。

◆予算特別委員会メンバー（8名）

- 委員長 上野 登
- 副委員長 藤枝 浩
- 委員 小磯節子 蛇澤幸一 萩原瑞子 横倉きん 大関久義 竹江 浩



定額給付金などの予算が可決・成立

国の2次補正予算成立に伴い、2月20日に第1回臨時会が開催され、定額給付金等の給付事務をスムーズに進めるため、給付事務に係る経費などの補正予算を可決しました。

また、今期定例会最終日の3月19日には、定額給付金等の関連法案の成立に伴い、定額給付金と子育て応援特別手当12億8004万円の補正予算が追加提出され、原案のとおり可決しました。

平成 20 年度一般会計補正予算（第 5 号）臨時会（2 / 20） (千円)

歳入		
定額給付金給付事務費補助金	50,220	国庫支出金
子育て応援特別手当事務取扱交付金	2,082	
生活対策臨時交付金	253,241	
財政調整基金繰入金	27,459	地域活性化事業費へ充当
歳出		
定額給付金支給事務費	50,220	人件費、電算委託料、郵送料など
子育て応援特別手当支給事務費	2,082	
地域活性化のための事業費	280,700	防災防犯事業、学校の耐震診断、生活道路の改修など

平成 20 年度一般会計補正予算（第 7 号）定例会（3 / 19） (千円)

歳入		歳出	
定額給付金給付事業費補助金	1,239,360	定額給付金	1,239,360
子育て応援特別手当交付事業費補助金	40,680	子育て応援特別手当	40,680